

**HONDA**  
The Power of Dreams

**NSX**





Never-Ending Dreams.

HT5827

KM6345



1990年、Hondaはひとつの夢を実現した。  
それは、高度な運動性能と快速性能を併せ持つ、まったく新しいスポーツカー、NSXの創生である。  
“解放するスポーツ”というスローガンのもとHonda独自のパフォーマンスコンセプトとオールアルミボディをはじめとするエポックメイキングな技術の集積によって生を受けたNSXは、新しい時代のデュアスポーツとして、新しい領域のドライビングプレジャーを世に提案、スポーツカー界を大きく震撼させた。  
以降、タイヤR、タイヤS、タイヤTとラインアップを拡大しながら、数々の技術革新や顕著な進化を積み重ねデュアスポーツとしてのパフォーマンスを一歩一歩着実に、そして確実に高めてきた。

つねに時代と向き合いながら、その時代その時代に最高と呼べるスポーツカー品質を創出していく。いわば、時代進化というべき進化の理論がNSXにはある。そうした考えのもと私たちがとくにこだわってきたのは、人の感性を刺激するドライビングフィールの追求。それは単にスペックなどで表されるたぐいのものではない。実際にハンドルを握り、アクセルを踏み込んでこそ、みえてくる高性能。エンジン特性やハンドリングはもとより、シフトフィールに至るまで、すべての感触、すべての反応に、スポーツを求めた。NSXが掲げる高性能の追求とは、いたずらにスペックパワーを追うことではなく、いわゆる乗り味を走り味といった感覚領域の性能を高次元に磨き上げていくことなのである。実際に走ってみなければ分からない部分、フィードバックといわれる領域の開発と磨き上げに、膨大な時間とエネルギーを注ぎ込み、NSXそのものを成長させていくのだ。このNSXの進化においては、高速走行性能の向上をテーマに空力性能を磨き上げ、前後タイヤのサイズアップなどで走りの質を高める一方、コクピットまわりのデイトールアップも敢行。さらに、スポーツカーとしてのもうひとつの官能、人の目を魅了させるボディデザインのあり方にも着目した。大胆に見開かれたヘッドライト、ボリュームを増したアンダーボディ。空力の進化がもたらしたその良新しいフォルムには、走りのためのパフォーマンスと、人のこころを鼓舞させるエモーショナルなデザイン要素を同居させた。性能とデザインの一体化、そして、これからの時代にふさわしいNSXの姿を考えた結果、ようやくたどり着いたアレックスアップかつグラマラスなスタイル。誰よりもNSXを知り尽くし、そして、自らの手で成長させていくことを無上の喜びとする技術者達の情熱が、NSXをここまで進化させたのだ。

NSX。かつて、このクルマを世に送り出すのはHondaの長年の夢であった。いくつもの進化を経験してきた今、このクルマはもはや、夢というよりHondaのひとつの象徴となった。NSXがNSXであり続けるための永遠のテーマ——つねに最高の走りをめざし、走ることの本質をより多くの人に提供し続けること——それは何よりもHonda自身、私たちひとりひとりの夢でもあるのだ。













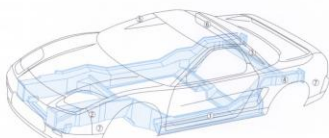


## Bodywork

NSXの起点、ミッドシップ・パッケージ+オールアルミボディ。  
すべてのパワー、すべての動きを、人間の支配下におさめたかった。



※写真は加工前のものです。



NSXボディ構造  
①高強度・高剛性押し出し成形サイドシル  
②フロントの衝突エネルギーを効果よく吸収するフロントサイドフレーム  
③メインフレームに固定された高剛性センターブレイク  
④リア乗降時にはフェニックスタンクを守る大断面高強度リアフレーム  
⑤アーク溶接を使った高剛性機軸ピラー  
⑥ボディ重量・剛性の向上とエンジンルームからの騒音・熱を低減するパナチオンガラス窓フロント及びリアアンダーを組み付け部品化することにより軽量化時のリペアを簡便化

コントロールバンプの弾縮性と高品位な乗り心地をもたらす。騒音かつしなやかな乗り。インホイール型のダブルウィッシュボーンサスペンションは、主要部品の60%にアルミを使用する軽量化設計。タイプDにおいては、前後7インチタイヤの採用に合わせ、ロール剛性とヨーダンピング、そしてロールダンピングの最適化を図ることで、いっその場に居残るよう操縦性能を向上。とりわけドライ路面での、中・高速コーナリング時の安定性を向上させている。また、スタアバランスの最適化を図り、定評あるハンドリングを、いっその場に居残るよう向上させている。



ダブルウィッシュボーンフロントサスペンション

ダブルウィッシュボーンリアサスペンション

操縦安定性と乗り心地を両立させるために、ピボットを介してホイールの動きに自由度を与えるコンプライアンスピボットを採用。コンプライアンスとは、突起を乗り越える際など、タイヤに前後方向の荷重がかかる際、タイヤ及びサスペンションが移動し、ショックをいなし能力のこと。ピボットはアッパーアームとロアアームを船形でセット。上下アームと一体化して動くようボールジョイントで接続されている。入力があるとピボットが回転し、コンプライアンスを確保しながら、アライメント変化をほぼゼロにコントロールする。



コンプライアンスピボット作動図

躍動をはじめとするHondaの過酷なテストコースの実走テストによって、性能を磨いていく方法は、タイヤの磨耗においても当てはまる。フロントでは400HP、リアでは400HP。高剛性の向上に合わせて、ハイスピード域でのスチビリティとハンドリングの向上をめざす。剛度にもなるテストを実施。その結果、前後バンプ、そして前後トランスミッションの最適化という結果が導き出された。また、ホイールは、全タイプ軽量化高剛性、BBS(フジマイヤ)と共同開発のアルミ鍛造ホイールを採用。NSXの新しい基準を満たしながら、製造ならではの強さと軽さをデザインした。



## Midship Package

ビュースポーツはもとよりレーシングカーの定石にもなっているミッドシップレイアウト。その高い資質を核として構築されたのが、NSXのパッケージ。NSXでは、V6エンジンとトランスミッションをリアアクスルの直前に横置き配置。さらにヨー慣性モーメントを極力小さく抑えるために、人や燃料タンクなどの慣性マスをできる限りボディ中心部へ集めることで、前後の重量配分をより理想的なものに近づけている。一方、そのスタイリングにも注目して置きたい。スポーツカーの概念を徹りかえた全方位好視界のワードキャノピーデザイン。低く長い独特のシルエット。「高性能小型ジェット機のグラスキャノピー」をモチーフとした造形は、すぐれた空力特性と視界性をも実現する。NSXの走り、NSXのカチ、それらはすべて、ミッドシップの利点を最大限に活用し昇華することによって、もたらされたものなのだ。

## All Aluminum Body

ミッドシップはボディ構造上剛性が多く、高い剛性が得られる反面、重量がかさむというハンデを持つ。そこでNSXはビュースポーツとしてのパフォーマンスを最大限に引き出すために、オールアルミボディを採用。ホワイトボディで208kgという驚異的な軽さを達成し、NSXの性格を決定付ける抜群の運動性能を手に入れた。ボディ剛性面においては、大断面フレームなどの採用によって高強度を確保。サイドシルにはきわめて高剛性の成形材を、サスペンションの取り付けには、2本のビームで構成されたサブフレームを採用。さらにパナールスキンには、ベークハード性(機付け時に硬さを増す性質)の高いアルミ材を採用。ボディ全体の軽量化にも貢献している。また、タイプDにおいてはオーブンブンプモデルでありながらも、高剛性を確保するために標準タイプ同様にダブルリンクサスペンションを走り込み徹底的に確保。サイドシルの板厚アップなど、50ヶ所を超えるボディ強化をしている。エンジンルーム内にはストラットタワーバーも装備する。

## Suspension

4つのタイヤを介して、エンジンパワー及びミッドシップの優位性を余すことなく路面に伝えてくれるのが、軽量、高剛性インホイール型ダブルウィッシュボーンサスペンション。ダブルウィッシュボーン本来のすぐれた基本特性に加え、アッパーアームとロアアームをホイールの内側に包み込む構成によってフェンダー高を低く抑えることができるという特長を持つ。これをベースに、路面追従性や操縦安定性、そしてハンドリングの応答性などを人間の感性にフィットするまでにチューンアップ。NSXの第二の故郷、ドイツデュルンブルクリンクサーキットでの数回にわたるテストを経て、俊敏かつ正確なフットワークが生み出されたのである。さらにタイプSでは、いっその場に居残る走り味を追求し、前後スプリングレート及びダンピングレートのアップ、ダンパーマウントのブラッシュ強化、10mmの最高ダウンなど、ハーデースセパレーションを敢行。まさにワインディングベストと称するにふさわしい専用チューンで、街の賑わいをひとさき走り抜けることができる。

## Brakes

エンジンやサスペンション同様、自在にできるストッピングパワー、すべてを託せるブレーキシステムがあれば、ビュースポーツは成立しない。NSXが採用するのは、大径ベンチレーテッドディスクブレーキ(ローター外径:フロント298mm/リア303mm)。キャリパーピストンをフロントとリアで異径とするなど前後バランスの最適化を図っている。ブレーキパッドは、耐フェード性、耐摩耗性を兼ね備えている。ブレーキシステムは、ABSは、ECU一体型の小型、軽量タイプを採用。高精度な車体運動管理を行い、いっその場に制動を可能にしている。





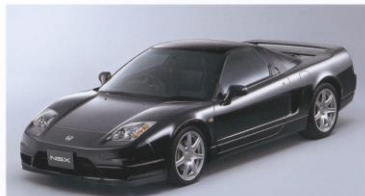




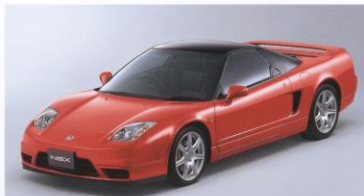




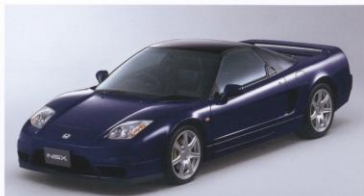
## Standard Color



Photo/NSX ヘルリナブラック



Photo/NSX ニューフォーミュラレッド



Photo/NSX ミッドナイトパール



Photo/NSX+75 シルバーストーンメタリック



Photo/NSX+75 モンテカルロブルーパール



Photo/NSX+75 セブリングシルバーメタリック



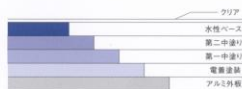
Photo/NSX+77 インディエイローパール



Photo/NSX+77 グランプリホワイト

### High-Quality Paint

外装への塗装はすべて、上塗り水性塗料を使った4コート4ベーク(4層塗装+4層焼き付け)塗装。鮮明で滑らかな光沢をもたらす高品位な塗装法である。とくにメタリック塗装は光に対しての乱反射も少なく、深みのある美しい色調となる。オールアルミボディを包み込むこの高品位塗装こそ、NSXを完成させる最後のチューンアップなのである。



## Seat Color

NSX



リアムブラック

type T



リアムブラック

ライオン

type S



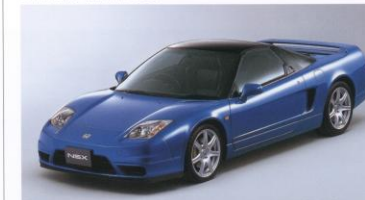
リアムブラック

オレンジリアムブラック

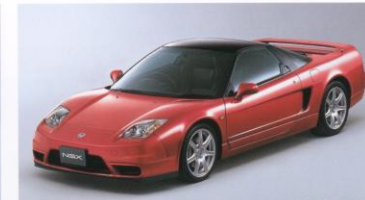
ブルーリアムブラック

## Premium Color

17インチ以上のホイール装着のオプションにのみ対応。



Photo/NSX ロングビーチブルーパール



Photo/NSX モンツァレッドパール



Photo/NSX+75 ニューイモラオレンジパール



Photo/NSX+75 ライムグリーンメタリック



Photo/NSX+77 プラチナホワイトパール

### Custom Order Body Color

NSXカスタムオーダーカラー(次項参照)では、全5色のプレミアムボディカラーを用意。ルーフトップをボディ同色にすることもできる。塗装はいずれも標準仕様と同じ4コート4ベークの高品位塗装。なかでもロングビーチブルーパールは、傑出した鮮やかさを誇つカラーであるものの、その塗料及び塗料の色味を引き立てるカラークリアの扱いには相当の手間と労力が必要のため、量産車への使用は不向きとされていたカラーである。他車よりも品質を重んじるNSXのファクトリー、高級工場という特別な環境がなければ世に送り出すことができなかった特別なブルー。強烈なインパクトに溢れる、その発色、その表情、ぜひともその目でお確かめ頂きたい。



※オプションカラーで設定可能。  
※NSXカスタムオーダーカラーは、NSX+77に標準装備。

## Custom Order Plan

NSXへの愛着を、いっそう深めてくれるのが、このカスタムオーダープラン。  
前ページで紹介した5色のプレミアムボディカラーに加え、インテリアカラー、ホイールカラー、  
インパネまわりなど、多彩な彩りを用意。  
標準仕様とはひと味ちがう、自分だけのNSXに仕上げることができる。

### Interior Color

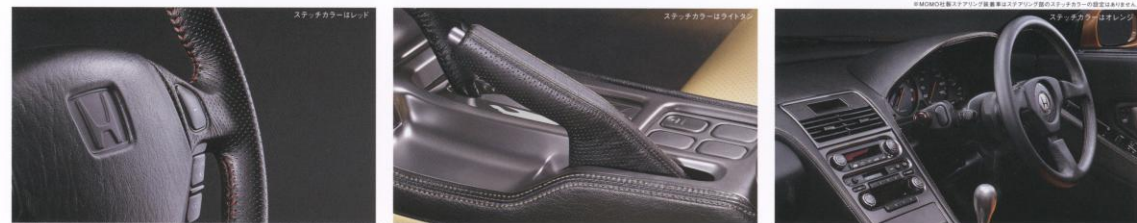
内装色はオーナーのこだわりに応える豊富なカラーを用意。  
ボディカラーとのコーディネートも楽しめる。(NSX、NSX-Rは別売)



写真は、内装色とボディカラーの色合いがイメージです。実際の色合いはNSX-Rは別売です。

### Stitch Color

ステッチカラーは全9色。色の選択も内装色との組み合わせも自由。ステアリングやサイドブレーキなどの操作系をはじめ、  
シート、インパネ、ドアライニングに好みのアクセントを効かせることができます。(NSX、NSX-Rは別売)



写真は、内装色とボディカラーの組み合わせです。ステッチカラーは、写真のカラー以外の他に、イエロー、ホワイト、オレンジ、シルバー、ブラックが選べます。

### Type S Stitch Color

タイプSの内装色に合わせたステッチカラー。カラーは、レッド (リアルブラック内装車のみ)、  
オレンジ (オレンジ/リアルブラック内装車のみ)、ブルー (ブルー/リアルブラック内装車のみ) の  
3タイプで、操作系\*シート+インパネ+ドアライニングのセット設定となっている。

\*NSX-Rは別売です。

### Center & Side Panel

山形県・天童木工の技術がいかにされた本木目パネルや、レーシングイメージを高めるカーボンパネルを用意。(※車種はNSX、NSX-Rは別売)



### Wheel Color

脚もとをスポーティにドレスアップするカードホイールを用意。  
いずれもベースはBBS (ワシマイヤー) と共同開発のNSX専用アルミホイール。



### Speedometer

NSXのハイパフォーマンスを主張する  
ドレスアップアイテム、  
280km/hフルスケールメーター。



## Refresh Plan

10年で620年でもずっと1台のNSXに乗り続けたい。しかも手を加えながら、少しずつ成長させてみたい。こうした自分だけのクルマを長く愛し続ける  
オーナーのために企画されたシステムが、リフレッシュプラン。購入してから年数も経ち、距離を走り込んだNSXが、クラフトマンの手によって新しく  
生まれ変わる。一般的な修理や再塗装などとは違い、オーナーの希望がきめ細かく取り入れられ、作業は製造時のように手作業で丹念に進められる。  
以下に紹介する5つのコースがあり、オーナーはそれらを組み合わせてオーダーできる。初代Rをはじめ、NSX全タイプ全年式に対応。

- 基本リフレッシュ  
1台のNSXを万全のコンディションでお乗り頂くための  
基本的なメンテナンスコース。エンジン、サスペンション調整などで  
構成され、テストコースでの実走チェックも含まれる。
- 外観リフレッシュ  
カスタムカラー、スタンダードカラー全色の中から好みの  
ボディカラーが選択できる。エンジンやサスペンションなどを装着し  
焼き付け塗装を行い、フロント&リアバンパー、リアスポイラーは  
新品に交換。ルーフをボディ同色にすることもできる。
- 内装リフレッシュ  
インテリアカラーやステッチカラーの変更など、  
カスタムオーダープランの内容がすべて利用可能。
- 隅隅り総合リフレッシュ (R専用)  
パネダンパー、サスペンションアームなどの脚まわり主要部品を  
新品に交換するR専用のコース。
- 機密部リフレッシュ  
基本リフレッシュでサスペンションのアライメント調整をした上で、  
フロント&リアダンパーを新品に交換。  
基本リフレッシュとのセットコースとなる。



■カスタムオーダープラン及びリフレッシュプランの詳細については、販売会社にお問い合わせください。

## NSX Owner's Meeting

NSXを知るための、特別なプログラム。



NSXオーナーだけが参加できるスキルアップレッスン、NSXオーナーズミーティング。黒澤元治氏や清水和夫氏などの特別講師のレクチャーのもと、ドライビングテクニックを磨くことができる。鈴鹿やフラインクもてぎをはじめとするサーキットにて開催。  
(詳細は販売店にお問い合わせください。)

### ベースックコース

NSXの真の性能を安全に知るための第一ステップ、サーキットにおいてNSXに関する知識と特性を学び、的確なコントロール方法を特別講師が丁寧にレクチャー。

- NSX開発コンセプトレクチャー
- セーフティ&スポーツドライビングの心構え、基礎知識をレクチャー
- 適正なドライビングポジション/低速度のフルブレーキング体験と制動距離、ABS効果の確認
- 低ミュー路でのハンドリング、オーバーステア・アンダーステアの体験、TCS効果の確認
- 高速からのフルブレーキング/ブレーキング/ハンドリングによる緊急回避テクニック
- サーキットでの総合的なマシンコントロールとマインドコントロール

### アドバンスドコース

ベースックコース経験者を対象とする第二ステップ、アドバンスドコースでは、ドライビングの奥深さを体験していただくために豊富なカリキュラムを用意。

- セーフティ&スポーツドライビングの知識とテクニック、フラッグなどのレクチャー
- セーフティ&スポーツドライビングの基本操作/コーナリング、ハンドリング、ブレーキング、シフト操作(ヒール&ト)
- 講師同乗走行、ショートコースでのセーフティ&スポーツドライビング
- サーキットでセーフティ&スポーツドライビングテクニックの模範形を習得

### スポーツドライビング(サーキット主催)

鈴鹿サーキット南コースの集中的なフリー走行を実践できる2時間のコンパクトなレッスンを用意。自らテーマを決めて存分に技を磨くこともできる。

お問い合わせ：鈴鹿サーキット交通教育センター Tel.0593-78-0387



## NSX Fiesta

NSXフェスタは、すべてのNSXオーナーを対象とした年に一度の祭典。1992年にNSXオーナーズミーティングスペシャルとして鈴鹿サーキットで開催して以来、回を重ねるごとに盛大なお祭りへと発展している。スキルアップにもつながる豊富なレッスン、そしてレーシングNSXのデモ走行やプロドライバーとの語りなど、趣向を凝らしたプログラムを用意。2日間にわたってNSXの世界を深く堪能することができる。NSXのオーナーであるならば、ぜひとも参加して頂きたいイベントである。  
(詳細は販売店にお問い合わせください。)



## NSX Press

NSXプレスは、NSXの周辺情報と様々なドライビングの世界を、多彩な写真と充実した内容でお楽しみ頂くための情報誌。

NSXプレスの最新情報およびバックナンバーはインターネットで見ることが可能。  
<http://www.honda.co.jp/NSX/nsx-press/index.html>



このページのデザインは本田技研工業株式会社工場デザイン部による。

## Racing NSX

疾走するスピリット。歓声の中、最速のヒストリーが刻まれる。



モータースポーツ、この量産車ベースの車両で競うツーリングカーレースにおいては、何よりもまず、ベースモデルの素性の善し悪しが重要な鍵を握る。

さらに、多数の自動車メーカーがこぞで参戦するようなレースの場合、メーカーとしての開発能力と技術力の高さ、それに加えてレース経験の豊富さが、勝利のための必須条件となる。そういった意味からみても、私たちがNSXをサーキットに送り込み、そして、数々の栄光レースシーンに組み込んできたことは当然の結果といってもいいだろう。1994年には、伝統的な24時間レース、ルマンに初参戦し全車完走。1995年には、ルマンのGTクラスで優勝。日本人のチーム、日本人ドライバー、そして日本のGTカーが初のクラス優勝を

なし逃がしたという点でわけて画期的であった。その一方で国内レースにも積極的にチャレンジ。全日本GT選手権シリーズ(JGTC)においては1997年より参戦を開始。1998年には、全レースでポールポジションを獲得するなど圧倒的な姿を見せた。また、1997年に結成された「無限×重夢プロジェクト」は、エンジンサプライヤーである(株)無限(本社:埼玉県朝霞市 代表:本田博俊)と、レーシングカーコンストラクターの(株)重夢(本社:東京都市左京区 代表:林みのる)とのジョイントプログラムで、N-GT仕様NSXをJGTC参戦チームへ供給している。「無限×重夢プロジェクト」もレーシングチームとして参戦し、2000年にはチーム/ドライバーズチャンピオン獲得という最高栄誉を手に入れている。

## NSX-R

サーキット走行をみずえながら、NSXの運動性能を徹底的に鍛え上げた至高の一台。大膽な空力チューンによるマイナスイリートの達成。そして、カーボン素材の採用をはじめとする、さらなるレーシングスペックの投入によって、NSX史上最速ともいえる、新次元のパフォーマンスが生み出された。Hondaレーシングスピリットをダイレクトに継承する「R」シリーズの最高峰、NSX-R。研ぎ澄まされた速さと走り求める人に。  
■詳しくは販売店にお問い合わせください。

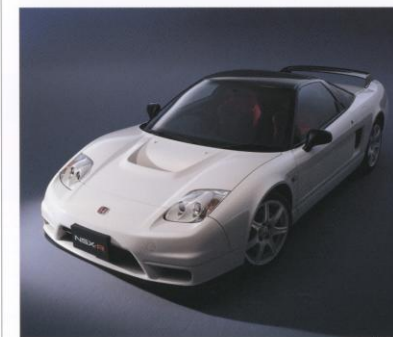


Photo: NSX-R

## Takanezawa Factory

高い運動性能と快適性の両立。スポーツカー史上例のなかったNSXのコンセプトを具現化するためには、まったく新しい生産技術の開発のみならず、それ専用の工場をつくる必要があった。宇都宮駅からクルマで約20分。Hondaの栃木研究所に隣接して建つ生産工場、栃木製作所高根沢工場。そこにはいわゆる大量生産のための工作ロボットなどは存在しない。そこにあるのは、少量生産を前提とするクルマにだけ許される特別の贅沢、クラフトマンシップが存在する。効率というよりはむしろ、品質を最優先していくというNSXならではの生産方法。それをひとことで表現するならば、やはり、手づくりという言葉にたどり着く。オールアルミボディの製造工程が最も象徴的だ。



当然のことながら、その溶接・加工には専用の機械や設備を用いる。しかし、アルミという素材は人間の手組を必要とする。結局のところ、最終的な仕上げを左右するのは、クラフトマン達の、手であり、眼であり、耳なのである。熟達した技と感性があっけがはじめてNSXが求める高品質条件を満たすことができるのだ。また、「解放するスポーツ」とはNSXのデビュー時のスローガンだが、何よりも人間を主役にするという考え方は、ここでも徹底されている。例えば、回転溶接台というものがあって、それは製作中のボディをぐるりと360°回転させることができる。技術者はこれによってボディの下にもぐったり、不自然な姿勢を強いられることなく作業に集中できるのだ。人間が感じるストレスを可能な限り取り除いていくことは、人間が持っている能力を最大限に引き出すことにもなる。NSXが掲げるヒューマンフィッティングの思想、それは生産設備から買われているのである。





スピードはひかえめに、シートベルトをしめて安全運転。お子様にはチャイルドシートを。

- 交通法規を守り、心に余裕をもって安全運転を心がけてください。
- 乗車中は必ずシートベルトを正しく着用しましょう。
- SRSエアバッグシステムを装着した車に乗る際も必ずシートベルトを着用してください。SRSエアバッグシステムは、シートベルトを正しく着用することで本来の効果を発揮します。
- お子様が乗車される際は、チャイルドシートなどを正しく装着し、きちんと着座させてください。

安全で快適なカーライフのために。

- 保証期間は、新車登録日から3年間、ただし、その期間内でも走行60,000kmまでです。また、Hondaが特に指定した部品は5年間、ただし、その期間内でも走行100,000kmまでです。なお、保証内容は保証書、またはHonda販売会社にてお確かめください。
- 安心できるカーライフのために、自賠責保険だけでなく、任意保険への加入をおすすめします。

貴重な資源を大切に。燃費向上運転をお願いします。

- 駐車時にはエンジンをとめましょう。
- 急発進・急加速を避けましょう。
- 日頃使わない荷物を載せたまま走るのはやめましょう。

インターネットでNSXの情報をお伝えしております。

<http://www.honda.co.jp/NSX/>

■インターネットで概算のお見積りができます。  
<http://www.honda.co.jp/CYBERMALL/>

お問い合わせ、ご相談はお近くのホンダベルノ店、または下記お客様相談センターまで。  
本田技研工業株式会社 お客様相談センター  
全国共通フリーダイヤル 020-112010（受付時間：9時～12時 13時～17時）

このカタログは、古紙配合率40%の再生紙を使用しております。

取り扱い車種：NSX/S2000/インテグラ/CR-V/HR-V/セイバー/オデッセイ  
ステップワゴン/ストリーム/モビリオ/モビリオスパイク/フィット/インサイト/パートナー

ホンダベルノ店からお届けします。

本田技研工業株式会社  
〒107-8556 東京都港区南青山2丁目1番1号  
本カタログの内容は2002年10月現在のものです。  
©2002.4.2102



# NSX

## PRICE LIST

平成14年5月現在

エンジン	タイプ	ミッション	○：主要装備【車両価格に含まれます】										東京地区 希望 小売価格 (円)	取得税 自家用 (円)			
			オート エア コン	オート デ イ オ	オート クル ーズ	パ ワ ー ス テ ア リ ン グ	両 席 S R エ ア パ グ	A B S	T C S	N A V I	D V D R O M	フル ス テ ル メ ー タ ー			ヘ ッ ド ラ イ ト	デ ィ ス チ ャ ー ジ	リ ア ハ チ ガ ー ラ ン シ ュ
V6 3.2ℓ DOHC VTEC	クーペ	6MT	○	○	○		○	○	○				○		9,207,000	414,000	
			○	○	○	○	○	○	○			○		9,607,000	432,000		
			○	○	○		○	○	○	○			○		9,757,000	438,700	
			○	○	○	○	○	○	○	○			○		10,157,000	456,700	
V6 3.0ℓ DOHC VTEC		4AT	○	○	○	○	○	○	○			○		9,407,000	423,000		
			○	○	○	○	○	○	○	○			○		9,957,000	447,700	
V6 3.2ℓ DOHC VTEC	タイプT	6MT	○	○	○	○	○	○	○			○		10,257,000	461,200		
			○	○	○	○	○	○	○	○			○		10,807,000	486,000	
V6 3.0ℓ DOHC VTEC		4AT	○	○	○	○	○	○	○			○		10,057,000	452,200		
			○	○	○	○	○	○	○	○			○		10,607,000	477,000	
V6 3.2ℓ DOHC VTEC	タイプS		○	○				○					○		10,357,000	465,700	
			○	○		○		○					○		10,757,000	483,700	
			○	○	○	○	○	○					○		10,857,000	488,200	
			○	○	○	○	○	○		○					11,307,000	508,500	
			○	○	○	○	○	○	○	○			○		11,407,000	513,000	
	タイプR	6MT							○			○			11,957,000	537,700	
			○						○			○			12,257,000	551,200	
			○	○								○			12,557,000	564,700	
			○				○					○			12,657,000	569,200	
			○									○			12,307,000	553,500	
			○	○					○			○	○		12,607,000	567,000	
			○	○				○	○			○	○		12,707,000	571,500	
									○			○		○		12,757,000	573,700
			パール塗装は15万円高										カスタム色のソリッドカラー 35万円高	カスタム色のパールカラー 50万円高			
インディイエロー・パール ミッドナイトパール・パール モンテカルロブルー・パール																	

\*特殊カラーは車両価格に上記の金額がプラスとなります。

\*価格には保険料、税金（消費税など）、登録に伴う諸費用は含まれておりません。

\*価格は各Honda販売会社が独自に決めていますので、価格については、各Honda販売会社にお問い合わせください。

ホンダウエルカムプラザAOYAMA  
0200324